

## 1. 研究課題名

帝王切開既往妊婦に対する経膈分娩トライアル（TOLAC）における  
母児の分娩転帰に関する検討

## 2. 試料・情報

### （1）利用目的

帝王切開を経験された妊婦さんが、その後の妊娠で経膈分娩に挑戦する方法を「TOLAC」と呼びます。TOLACが成功すると、帝王切開を避けることができ、母体への負担軽減につながる可能性があります。一方で、子宮破裂などの重篤な合併症が起こる可能性もあるため、安全に管理を行うことが重要です。当院では多くのTOLAC症例を経験しており、日常診療の中で安全な管理を心がけています。しかしながら、どのような方が経膈分娩に成功しやすいか、また早産の場合にどのようなリスクがあるかについて、まだ十分にわかりません。

本研究はTOLACを行った方の診療情報を後方視的に解析し、分娩経過や母児の転帰との関連について検討することで、今後TOLACを実施される方により安全な分娩を提供することを目的としています。研究期間は承認日から2028年3月31日までです。

### （2）利用項目、提供方法

本研究は、すでに帝王切開を経験された方で2011年1月から2026年3月の間に当院で分娩となった方の診療記録を利用して行います。利用する情報は、既往歴や在胎週数、分娩経過や分娩様式、分娩時合併症等の母体転帰ならびに新生児転帰に関する情報、産後の分娩経過に関する情報等を収集します。利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。診療記録から抽出した情報は加工処理され、個人が特定されることはありません。

### （3）利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 産婦人科 医師 有吉 悠 （研究責任者）

### （4）管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

## 3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当 : 産婦人科 医師 有吉 悠